

人口と世帯

	昭和41年(11月末)	昭和46年(11月末)	昭和51年(11月末)
人口	2,738人	2,233人	2,047人
男	2,914人	2,299人	2,127人
女	5,652人	4,532人	4,174人
世帯数	1,248世帯	1,158世帯	1,106世帯
転入した人	18人		
転出した人	9人		



お誕生おめでとう

中野 松尾国和さん
二女 文香ちゃん

椽の木瀬 福樹明昭さん
長男 真嗣ちゃん

山 槌 渡辺真美雄さん
長男 和仁ちゃん

上鹿野川 米田久信さん
長男 由紀ちゃん

おくりやみ申し上げます

大和 片山嘉平さん(56才)
大屋敷 高尾フクヨさん(86才)

月野尾 富永富夫さん(54才)
小藪 松本重男さん(69才)

明日の郷土を考える

公共施設と建設事業に重点

～財政からみた町の10年～

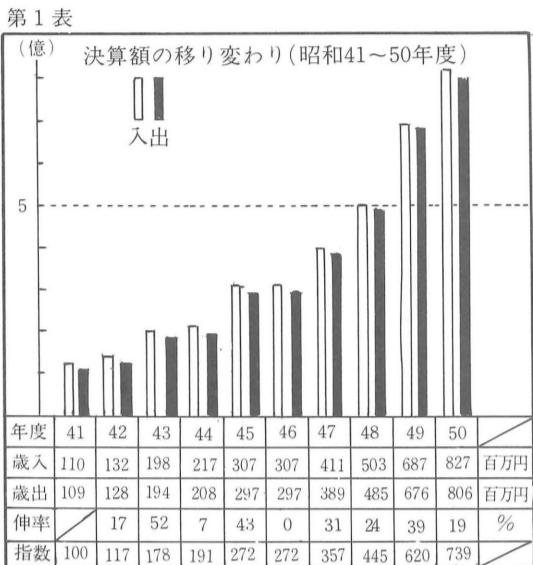
すべての仕事に力めくりが大切なことはいまでもありません。適切な時期に力めくりをつけず、ずうずうべつたりしておくといくら優秀な仕事であっても、しまりのないものとなりその評価は低いものとなります。

町の仕事も同じことです。すなわち年度はじめにキチンと仕事の計画と、それに必要な経費の収支計画をたてています。つまり「予算」を編成して、それを基に仕事をすすめているわけですから、きまった時期に力めくりをつけ、その結果を見極めることが重要な意義をもつこととなります。この力めくりをつけることが「決算」です。

決算は行政の成績書

このように決算は単なる数字の整理をつけるだけのものでは、仕事の実績の裏付けでなされたものでなく、その成果を道路建設や集会所の建設の財源が無計画な借入金であったり、余裕があるからといって支出の拡大をしていったの記録簿であり、行政の良し悪しをきめる成績書ともなるわけです。

道路や集会所等の公共施設がどれだけ出来たか、老人医療や年金等の福祉がいかに充実されたかなどは、行政の良し悪しをきめる目安になります。



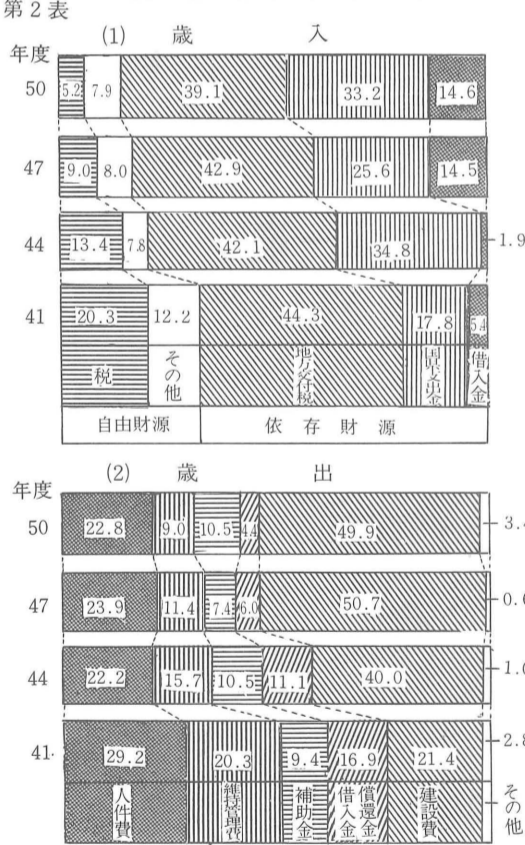
決算額は七倍に

そこで今月は肱川町の成績書をひもとき、過去十年間の行政の足跡をふりかえってみることにいたします。

まず第1表を見てみましょう。これは、国保や、水道等の特別会計を除いた一般会計の決算総額をグラフにしたものです。

昭和四十二年を100として、歳出指数は一〇年後の昭和五〇年度には七三九となつています。町の財政は約七倍と拡大されたわけ

決算内容の移り変わり 単位%



農林構事業で規模拡大

それでは一〇年間に町の行政は何をしたのでしょうか。その年の主なものをひらいてみます。

四一年度 格別大きい事業はないが中居谷を皮切りに地籍調査が始まる。

四二年度 待望の歯科診療所鹿野川に開設された。農村自動車電話が大谷、小蔵地区に開通、山振事業開始(中津、故山田庄太郎先生の双光旭日章、名譽町民章受賞祝賀会等の朗報の反面干ばつの年となり干害対策で溜池一五か所改修。

四三年度 農林家の所得増強のため農林構事業の本格的開始(予子林桑園、汗生林道着工)、肱川中学校災害復旧工事も行われた。

四四年度 正山生活改善センター新築(山振)、農構は予子林津地区の桑園、林構は汗生林道の建設、寝たきり老人のためホームヘルパー一人を置く。その

四五年度 生涯教育を目指して公民館建設、(決算総額の二三%)農林構下、鹿野川、共栄集会所大谷生活改善センターの建築、道路新設等々建設事業が拡大される。一方健康、パトロールカー、患者輸送車の設置、児童手当の支給開始等福祉面も一段と充実。この年保養センター着工。

四六年度 全国の高校生を集めてインターハイ開催。保養センターのオープン、国道一九七号線(当時県道)の舗装も完了。この年老人医療費の無料化実現。いよいよ高福祉時代の到来。

四七年度 町行政の隔週休二日制スタート。土曜日も終日勤務体制となる。農林会館も完成。農林家の新しい拠点が出来た。町民プール、岩谷テレビ受信施設、集会所等の厚生施設の充実

自主財源は一三%

それでは、町の財源はどうなっているのかを「第2表」の(1)を見て分析してみよう。

まず町税は九月号でお知らせいたしましたように一〇年間で金額は約二倍になっているものの規模は年々低下し、昭和五〇年度は一〇年前の四分の一になりました。その他の分を含めて町で調達できる金(自主財源)は全体の二三%です。残り七八%は国や県からの交付金や補助金及び借入金(依存財源)となっています。

これは、建設事業、農林構事業等と積極的な推進や、老人医療等福祉事業に使われたものです。借入金は昭和四五年から始まった政府の辺地、過疎対策、昭和五〇年度の不況対策等も影響大きく伸びています。

衆議選肱川町の投票率

戦後始めての任期満了による第三回衆議院議員選挙は、十二月五日に執行されました。七〇年代後半の国政を左右する大切な選挙だけに有権者の関心も高く、さらに好天に恵まれたこともあって、今までにない高い投票率となりました。

投票区	投票者	投票率
第一(役場)	四八七	九二・八
第二(資生)	六〇	八七・七
第三(予子林)	二四	九三・〇
第四(大谷)	二〇	九二・二
第五(中津)	四九	九一・二
第六(岩谷)	二六	九三・三
第七(計)	二六	九一・九

集音マイク

運動がこの年からスタート。前年くれのオイルショックによる物価高騰がこの年から大きく影響はじめる。しかし、町では「大切に」運動の趣旨にそって節約する一方、計画の予算執行により、農林構の推進、町道の舗装、正山小プール、町民運動場の設置、又水道や集会所等身近な施設の建設は順調に完成。

五〇年度 国勢調査実施、四五年度に比べ六〇二人(八・七%)減っている。

いよいよ公共施設の仕上げともいふべき庁舎建設の開始。公民館は本館をはじめ各分館も完成。各部集会所も大半完成。学校施設も充実、道路舗装も着々進行。自分の館は周辺の施設が完成してから町長の考えでおこなう重要な施設の最後の施設として庁舎建設が着工された。以上が私たちの肱川町の一〇年の歩みです。「第2表」の(2)を見ればわかるように、肱川町は後進地域としての脱皮をはかるため、公共施設の充実を目標とし、建設事業に重点を置いていたことがわかります。歳入で国県支出金や借入金が増えているのもそのためといえます。

町民あか松は、松クイ虫の大受難くぬきにとりかかわるのでは。(農林業対策会議11/19)

〇墓地、埋葬等に関する法律によると、墓地は、県知事の許可がなければ新設できない。県は、市町村、又は宗教法人以外は許可しないという。

国土調査によると、町内に墓地は一、〇〇〇筆以上ある。保健所の墓地台帳に登録されているものは三三六筆である。土地台帳の墓地と墓地台帳の差は、登録もれか、無許可墓地か。この法律の施行(昭和二十三年)以後新設されたものは、無許可墓地といえる。

「墓地の新設方法はないか」など身近かな意見、要望続出。

〇山の上にも人家はあるが、防火用水はないところもある急傾斜の多いわが町。河辺川の水を大駄場へ、ポンプ三台の連結放水訓練、消防団員に深謝。「火災は人災、防くはあなた」なによりも、火災を出さない注意が第一。

(防火デー12/1)

〇低調ムードといわれた衆議院議員選挙。当町では、史上最高の九一・九五%の投票率で激戦を示した。(衆議院議員選挙12/5)

心かよじ地域 ○やさしい心を ○国旗をかがげよう ○花木を育てる (「大切に」運動一月の目標)

お知らせ

愛媛県の最低賃金が十一月三十日から次のように改正されました。

募集 陸、海、空自衛官 常時受付中 経済的に安定し、各種技術が修得できる。

郵便番号にご協力を

郵便番号制は郵便事業の合理化、近代化を図る目的で昭和43年7月1日から実施され今年で9年目を迎えます。

子どもの日

-3-

ぼくのおかあさん

小学校二年 男子

ぼくの家は、お父さんとお母さんと姉ちゃんとおぼくの四人家族です。

一口医学

脳卒中の危険信号

一年中で、いちばん寒い季節、脳卒中が心配になるシーズンとなりました。

他人の戸籍謄本を請求する時は使用目的を(戸籍法の改正)

十二月一日から戸籍法が改正され、戸(除)籍の請求手続が次のように変わりました。

農業委員会委員の選挙権を有する方へ

農業委員会委員選挙人名簿の登録申請について 農業委員会委員選挙人名簿は、毎年1月1日で調整する。

昭和51年度工業統計調査のお願い

工業統計調査は、製造業に属するすべての事務所を対象として、毎年12月31日現在で調査します。

いろいろな福祉制度(1)

児童扶養手当 ※児童扶養手当 二十才未満の心身に障害のある者たとは、父母が離婚して、母親と生活している児童、父が死亡した児童などが該当する。

機械が読めない郵便番号の例



泰平一家



飲みません車を車庫に しまうまで

年末の交通事故防止運動

12月10日~1月10日

12月10日から1月10日まで、年末・年始の交通事故防止運動が行われます。

たくわえは心のゆとり 明日の糧

(12月1日~12月31日 歳末特別貯蓄運動)